

(様式1)

## 平成23年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 011-2	提案機関名 畜産課
<b>要望問題名</b> 畜産農家の臭気対策として有効な資材等の検討	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・本県は住宅地に近い場所で畜産業が営まれているため、地域の生活環境との共生を図ることが極めて重要であり、地域への配慮なくして経営を存続することはできない。 ・一方、県畜産経営環境保全総合対策指導協議会が実施している苦情発生件数の実態調査からも、例年、悪臭単独による苦情発生件数だけで全苦情発生件数の5割前後を占めている状況にある。 ・このため、畜産関係の臭気対策に視点を定め、有効な資材や設備の検討に取り組んでいただきたい。	
<b>解決希望年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術所 ③水産技術センター ④自然環境保全センター
<b>備考</b>	

<b>回答機関名</b>	農業技術センター畜産技術所	<b>担当部所</b>	企画経営担当
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可		
<b>試験研究課題名</b> (①、②、④の場合) 牛ふんの低コスト消臭型堆肥化ハウス開発研究 (H13～16) 活性汚泥を用いた畜舎汚水と臭気の同時処理技術の開発 (H16～17) 地域資源等を活用した抑臭堆肥化技術の開発 (H18～19) 有用微生物による臭気発生抑制技術の開発			
<b>対応の内容等</b> 当所では、臭気対策は都市型畜産経営における環境問題解決の重要課題と考え、牛ふんの低コスト消臭型堆肥化ハウス開発研究(平成13～16年度)、活性汚泥を用いた畜舎汚水と臭気の同時処理技術の開発(平成16～17年度)、地域資源等を活用した抑臭堆肥化技術の開発(平成18～19年度)を行ってきました。 ご要望の臭気対策技術の研究開発については、平成23年度より未利用資源や有用微生物を利用した臭気発生抑制技術の開発を実施し、低コストな抑臭技術の開発を進めていきます。			
<b>解決予定年限</b>	①1年以内 ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内 ④5～10年以内		
<b>備考</b>			